

2020年(令和2年)3月2日(月)掲載

くらし

エンジョイ！ スポーツライフ

生涯スポーツ編 ⑨



かわの・てつや 85年

千葉県生まれ。秋田大医学部卒、同大学院修了。19年4月から現職。整形外科専門医。

開いています。再開できた患者の方が歩行能力などで評価される成績が良く、痛みや生活に対する満足度も高いことが分かっています。

また、手術前から何らかのスポーツを行っていた患者は、関節温存手術や人工股関節全置換術を行っても、その後スポーツを再開しやすいことが報告されています。

もし股関節の痛みによる悩みがあれば、まずは整形外科を受診してみてください。

診してみてください。日頃から自分に合ったスポーツを行うことは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

(河野哲也・秋田大整形外科学講座医員)

△第1、3月曜日に掲載

ライフスタイルや興味に因って「変形性股関節症」があります。変形性股関節症とは股関節の軟骨がすり減ることによって、痛みや機能障害が生じることがあります。日本では男性より女性に多く、発症年齢は平均40〜50歳とされています。

股関節痛

機能改善へ筋力増強

股関節の痛みについて取り上げます。

今回は「股関節」の痛みについて取り上げます。

股関節の痛みの原因は多岐にわたりますが、加齢とともに増えてくる原因が、最初に起こる原因です。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。



「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。

「手術を受ける」というのは、万が一、股関節の手術を受けることになっても、手術後の生活などに対する満足度、活動量を下げないことにつながります。ぜひ、自分に合った「生涯スポーツ」を見つけてみましょう。